



群馬県の紹介

都道府県指導者養成研修（緩和ケアチーム研修企画）



群馬大学医学部附属病院

医師（身体症状担当）

：山田真紀子

薬剤師：大島宗平

看護師：篠田静代

角田明美

群馬県の情報

• 総人口	1,915,293人 (令和4年7月1日)
• 高齢化率 (65歳以上が総人口に占める割合)	30.3% (令和2年度)
• がん患者死亡者数	5,950人 (令和2年度)
• がん患者の自宅死亡割合	17.2% (令和2年度) 自宅+老人ホーム
• がん診療連携拠点病院数 (厚生労働省指定)	9施設 (令和4年4月)
• 緩和ケア病棟のある病院数	6施設 (令和4年4月)
• 在宅療養支援診療所数	84施設 (令和4年3月)

• 群馬県の特徴

- ①前橋、高崎を中心とした県中央部に医療機関が集中している ②自動車保有率が高く、公共の交通機関が発達していないため、高齢者や運転ができない患者の通院が大変
③がん患者や家族に役立つ情報冊子「ぐんまのがん安心がんサポートブック（第11版）」を群馬県が作成、発刊 ④「患者会」や「ピアサポーターの支援」が充実している

群馬県がん対策推進計画に記載された 緩和ケアに関する主な目標や取り組み

①がんと診断された時からの緩和ケアの推進

- がん患者が緩和ケアを適切に受けることができるよう、緩和ケアの意義等について、がん患者や家族も含めた**県民、医療・福祉関係者に普及啓発する**
- 群馬県のがん診療に携わる**全ての医師が緩和ケアに関する基本的な知識や技術を習得**できるようにするため、引き続き、緩和ケア研修会を開催する
- **看護師向けの緩和ケア研修会を実施**し、病院に勤務する看護師のほか、訪問看護ステーション勤務の看護師の受講を促進する
- がん診療連携拠点病院等は、**がんと診断された時からの緩和ケア提供体制の充実**に努める

群馬県がん対策推進計画に記載された 緩和ケアに関する主な目標や取り組み

②在宅緩和ケア

- 在宅療養支援診療所、病院、薬局、訪問看護ステーション等の医療従事者及び介護支援専門員を含む介護従事者への緩和ケア研修等を実施し、**在宅緩和ケア体制の整備及び従事者の緩和ケアを含むがんに対する理解の促進**に努める
- がん患者の在宅緩和ケアを支援する体制について、**地域ごとの状況を把握し、支援体制について検討、好事例の提供**に努める
- がん診療連携拠点病院等は、緩和ケアの提供体制について検討する場を設置するなど、**地域における医療機関及び介護サービス事業者との連携体制の充実**を図る
- がん診療連携拠点病院等は、がん患者やその家族による在宅療養を支援するため、**在宅医療を提供する医療機関や薬局、訪問看護ステーション等の診療(業務)体制**について、**情報提供**を行う

群馬県内の緩和ケアに関する課題・問題①

- A. 群馬県がん診療連携協議会緩和ケア部会（以下、部会）を年に1回開催しているが、部会の情報提供・共有のみで県としての取り組みを協議する場が多くない
- B. 各施設に日本緩和医療学会セルフチェックプログラムへの参加を呼びかけていたが、一部の施設の参加に留まり、群馬県内の問題点を十分に把握することができていない
- C. 相互チェックを都道府県がん診療連携拠点病院(当院)と地域がん診療連携拠点病院 1 施設と行ったが、COVID-19の感染拡大に伴い、中断してしまった

➡各施設の問題、県内の問題の把握が出来ていない

群馬県内の緩和ケアに関するこれまでの取り組み

群馬県としての取り組みを協議する場

2021年度：部会で取り組み案を提示
ワーキンググループを設置して、取り組み案を検討

2022年度：検討内容についてメール会議を実施
群馬県としての取り組みを決定（内容は次のスライド参照）

問題点：一部の施設メンバーで決定してしまったことが否めない

群馬県内の緩和ケアに関するこれまでの取り組み

「2022年度の群馬県としての取り組み」決定内容

① 病院レベルのPDCAサイクルを確保する

- ・都道府県・地域がん診療連携拠点病院は必須とし、セルフチェックプログラムの「Act・Planシート」提出する

② 苦痛のスクリーニングを運用して、基本的・専門的緩和ケアを適切に提供する

各施設で運用状況に差がある為、到達目標を3段階に設定

到達目標1：がん診療を受ける患者に対して苦痛のスクリーニングを実施する

到達目標2：該当患者へ対応ができていないか確認する

到達目標3：対応率100%を目指す

③ すべての医師が緩和ケア研修会を修了する

- ・がん診療の有無にかかわらずすべての医師が緩和ケア研修会を終了することを目標とし、受講率を確認する

群馬県内の緩和ケアに関するこれまでの取り組み

都道府県がん診療連携拠点病院としての取り組み

Web会議システム(G-space)による緩和ケア地域連携カンファレンス

<G-Space>

- 群馬大学ICTデータサイエンスコンソーシアムのプロジェクトの一つ
- セキュリティーが確保されたサーバー上で行う会議システム(クラウドシステム)
- 会議室を運用するOS、アプリケーションは群馬大学で管理し、VPN通信形式を用いることから情報漏洩は発生しない

- 現在のところ、当院近郊の緩和ケア病棟をもつ地域がん診療連携拠点病院1施設と在宅緩和ケア施設2施設と転院・退院前カンファレンスとして実施

<今後の展開>

- 地域医療を支える病院・診療所・介護施設等に対し、緩和ケアに関する相談窓口としての役割を果たす
- 県内すべての地域がん診療連携拠点病院とG-Spaceで連携し、相互評価を行う

群馬県内の緩和ケアを進めるために 今後取り組みたいこと・検討したいこと

①群馬県の緩和ケアの現状を知り、問題点を抽出する

- 各病院の問題点を明確にする

②抽出された問題点の解決策を検討する場として、 緩和ケアチーム研修会を実施する

- 各病院の問題を持ち寄り、群馬県の課題を明らかにし、そのための
取り組みを決定する場とする
-

群馬県 実施計画の概要立案

2022年度 都道府県指導者養成研修（緩和ケアチーム研修企画）

群馬県の緩和ケアの現状

群馬県内の緩和ケアに関する課題・問題

- 1) 緩和ケアチーム体制を共有できていない
- 2) 課題・問題について話し合う場がない
- 3) 部会での検討が医師・看護師のみ
(2職種だけの構成では不十分)
(実務者を中心とした新たな体制の立ち上げが必要ではないか?)
↓
(今後、研修会を開催し、より多くの職種、実務者が参加できる環境を整備してはどうか)

群馬県内の緩和ケアの質向上に向けた 今後の方向性

群馬県の取り組みで目指したいこと（ゴール）

各施設の課題・問題を明らかにし、県全体で共有しながら解決に導くための目標設定を各施設で行い、県全体の質の向上を目指す

群馬県の取り組みで扱いたい内容と方法

取り組みたい内容：

各施設の緩和ケアチームの課題・問題を抽出して、問題解決のための目標設定をする

方法：

緩和ケアチーム研修を開催し、施設を越えた話し合いの場を設ける
（3職種以上の参加が望ましい）

企画概要

企画名

群馬県緩和ケアチーム研修会

目的

各施設の問題を明らかにし、県内の緩和ケアの質を向上させる

目標

施設や緩和ケアチームの課題・問題を抽出して、各施設の目標設定ができる

対象者・人数

対象者：がん診療連携拠点病院等の緩和ケアチームのメンバーとする
(医師・看護師・薬剤師・臨床心理士の中で3職種以上4名1チームで参加)

開催期間・時間・開催形式

12：30～17：30（仮） オンライン形式

実施主体

群馬県がん診療連携協議会、群馬県

プログラム(案)

開始	終了	時間	研修方法	内容
11 : 45	12 : 30	45分		受付 (マイク・カメラのテスト)
12 : 30	12 : 40	10分		オリエンテーション (研修内容説明)
12 : 40	13 : 00	20分		参加施設紹介
13 : 00	13 : 30	30分	講義	群馬県のがん対策について (行政)
13 : 30	13 : 40	10分		休憩
13 : 40	14 : 10	30分	グループワーク	職種別グループワーク
14 : 10	14 : 20	10分		休憩
14 : 20	14 : 50	30分	グループワーク	職種・施設混合グループワーク
14 : 50	15 : 00	10分		休憩
15 : 00	15 : 30	30分	グループワーク	施設別グループワーク (目標設定)
15 : 30	15 : 40	10分		休憩
15 : 40	16 : 30	50分		発表
16 : 30	16 : 40	10分		休憩
16 : 40	17 : 10	30分	講義	精神腫瘍学に関する講演
17 : 10	17 : 30	20分		本日の振り返り・まとめ・アンケート・事務連絡

研修の評価

【実施評価】

受講者に満足度調査アンケートを実施する

【結果評価】

研修終了 6 か月後にアンケートで研修内容の活用度と成果度を評価する（職種毎、病院毎）

【企画評価】

主催者の進行は適切だったか、研修の振り返りを話し合う

セッション

群馬県のがん対策について

日時 : (日付未定) 13:00~13:30
場所 : オンライン(Zoom)
セッティング : 各個人でPCを準備
担当 : 山田
用意するもの : ネット環境の確認

【学習目標】

群馬県のがん対策の動向と今後の方針について確認、理解する

【事前準備】

群馬県担当者に連絡し講義を依頼、講義資料・配布資料準備する

【会場準備】

Web形式で行えるようセッティングや接続確認等を行う

【すすめ方】

講義形式

【セッションでの留意点】

受講者は事前資料を確認の上、参加すること

セッション

職種別・施設別混合別グループワーク

日時 : (日付未定) ①13:40~14:10 ②14:20~14:50
場所 : オンライン(Zoom)
セッティング : 各個人でPCを準備
担当 : 角田・篠田
用意するもの : ネット環境の確認

【学習目標】

職種・各施設における課題・問題点を共有する

【事前準備】

各施設の問題・課題を列挙しておく (事前課題)

【会場準備】

Web形式で行えるようセッティングや接続確認等を行う

【すすめ方】

ファシリテーターを中心にグループワークを行う

【セッションでの留意点】

各施設の問題・課題を明確にしてくる
自由な検討の場となるよう心理的安全を担保する

セッション

施設別グループワーク

日時 : (日付未定) 15:00~15:30
場所 : オンライン(Zoom)
セッティング : 各個人でPCを準備
担当 : 大島
用意するもの : ネット環境の確認

【学習目標】

各施設で問題・課題セッション 1 ~ 3 を行い解決に導くことができる

【事前準備】

【会場準備】

Web形式で行えるようセッティングや接続確認等を行う

【すすめ方】

必要に応じて、ファシリテータが適宜助言する

【セッションでの留意点】

自由な検討の場となるよう心理的安全を担保する

セッション

精神腫瘍学講義

日時 : (日付未定) 16:40~17:10
場所 : オンライン(Zoom)
セッティング : 各個人でPCを準備
担当 : 山田
用意するもの : ネット環境の確認

【学習目標】

がん患者における精神・心理的なケアについて学ぶ

【事前準備】

緩和ケアに携わる精神科医師に連絡し講義を依頼する
講義資料・配布資料準備する

【会場準備】

Web形式で行えるようセッティングや接続確認等を行う

【すすめ方】

講義形式

【セッションでの留意点】

明日の診療・ケアに生かせる知識を得る